「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

技術名称：スロープガードフェンス工法

登録事業者：(株)プロテックエンジニアリング

様式２

①　技術概要・概要図

本技術は、土砂崩壊や落石の懸念される斜面に近接した民家裏や道路際などに設置し、土砂・落石災害等から保全対象を守る為の鉛直式防護柵である。
粘り強さと強度に優れた支柱を採用しており、また対象物を捕捉した際にはネットパネルをスパン毎に取り外しが可能な為、高い維持管理性も有している。



②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和6年度
発注機関	広島県福山市役所
事業名	道路改良工事(常石草深幹線)
対象地	広島県福山市沼隈町地内
実工期	令和7年11月中旬～令和7年12月中旬
数　量	施工延長：114.0m　柵高：4.0m

③　活用に至った現場条件や経緯

既設の法枠上部の残斜面対策としてスロープガードフェンスが設置された事例である。
現場は、対策延長が長く、道幅も狭い為、残斜面の改変が厳しく、また擁壁等の設置も難しい為、狭隘な箇所にも設置可能なスロープガードフェンス工法が採用された。

④　活用効果（本事例における効果）

法枠上の残斜面対策も必要なく、また現道への掘削も生じない為、工期及び施工費用の削減に貢献することができた。

⑤　活用状況写真



削孔状況



支柱建込状況



モルタル充填状況



上部工組立状況